

DPC 体制評価指数「災害時における医療」等の新たな評価は見送り

中医協・総会（会長：森田朗・国立社会保障・人口問題研究所所長）は 9 月 10 日、来年度以降の導入を想定していた DPC 機能評価係数Ⅱ「地域医療指数・体制評価指数」における「災害時における医療」「がん拠点病院」の新たな評価を見送ることを承認した。



「災害時における医療」では、「新型インフルエンザ等対策に係る地方公共機関の指定」を受けた医療機関に

対する評価の導入が検討課題となっており、来年度以降の導入を見据えて検討することとされていた。しかし、各都道府県において指定地方公共機関の指定が進んでいるものの、現時点では同機関の地域における役割について把握できない点が多いとの理由から、来年度の導入は見送りとなった。今後、地域における役割が明確化した時点で、動向を踏まえ、2016 年度改定以降の導入を検討していく方針だ。

また、「がん拠点病院」では、今年度より新設された「地域がん診療病院」「特定領域がん診療連携拠点病院」の指定を受けた医療機関を、がん診療の中核病院として評価することが検討課題となっていたが、8 月 6 日時点でこれらに指定された病院はそれぞれ 1 施設にとどまっており、まだ評価する段階に至っていないと判断された。毎年の定例報告（10 月 1 日時点）での指定状況を踏まえ、2016 年度改定で評価することとなった。

■DPC 高額薬剤に対象となる診断群分類を追加

その他、同日は、DPC 高額薬剤「スンペプラカプセル 100mg」〔一般名：アスナブレビル〕、「ダクルインザ錠 60mg」〔一般名：ダクラタスビル塩酸塩〕の出来高算定対象となる診断群分類について審議した。9 月 2 日に告示された診断群分類に加え、新たに 4 分類が追加承認された（詳細は下表を参照）。

赤字が今回、対象に追加された診断群分類（官報告示日より適用）

銘柄名	成分名	会社名	効能・効果	該当する診断群分類番号
スンペプラカプセル 100mg	アスナブレビル	プリストル・マイヤーズ	セログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変における次のいずれかのウイルス血症の改善 (1) インターフェロンを含む治療法に不適格の未治療あるいは不耐容の患者 (2) インターフェロンを含む治療法で無効となった患者	060295xx97x0xx
				060295xx97x1xx
				060295xx99x0xx
				060295xx99x1xx
ダクルインザ錠60mg	ダクラタスビル塩酸塩	プリストル・マイヤーズ	セログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変における次のいずれかのウイルス血症の改善 (1) インターフェロンを含む治療法に不適格の未治療あるいは不耐容の患者 (2) インターフェロンを含む治療法で無効となった患者	060295xx97x0xx
				060295xx97x1xx
				060295xx99x0xx
				060295xx99x1xx

※中医協の資料を基に作成